

評価能力を高め、問題解決に向かう生徒の育成

○ 加藤 佳昭（技術分野）、林 滯（家庭分野）

研究主題設定の理由

- 創造性を発揮し、最適解を導き出すことが苦手な生徒の実態
- 組織での意思決定が苦手な生徒の実態
- 教科固有の見方・考え方を働かせる手立ての不足
- 自己肯定感、自己有用感を高める手立ての不足

- イノベーションを生み出す創造性の向上
- 技術的課題を、望ましさや他への影響を比較・判断し、最適に解決する能力の育成
- 技術革新と極めて密接に関わり合う「生活」の自立
- 物事を多角的に捉え、他者の意見等を踏まえて意思決定する力の育成

技術・家庭科で育成を目指す資質・能力

技術分野で育成する「人間の強み」

Society5.0を支える技術を理解し、その光と影を考え、評価、選択、管理・運用することができること。また、思考と試行を繰り返し、物事の本質を捉え、新しい価値の創造に向けて、構想・設計、製作（制作、育成）、評価を行い、技術の発達を主体的に支え、技術革新を牽引すること。

家庭分野で育成する「人間の強み」

自分自身の家庭生活を見つめ直し、他者の意見等も踏まえて、最善の方法を判断・決定することができること。また、思考と試行を繰り返し、物事の本質を捉え、よりよい生活の実現に向けて、計画、実践、評価を行い、家庭生活や地域を支える一員として、生活場面で直面する様々な問題を解決するために、自分に可能な役割を果たすこと。

思考力等

【技術分野】

使用者と開発者の立場を往還しつつ、多様な視点の長所・短所に折り合いをつけて、製品やシステムを評価することのできる力と、よりよいものを生みだしていく問題解決能力。

【家庭分野】

自分と家族・地域の人々との立場を往還しつつ多様な視点で実践活動を評価することのできる力と、よりよいものを産み出していく問題解決能力。

協調性等

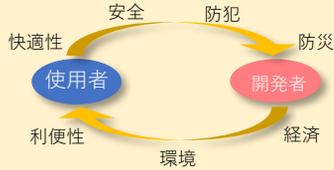
立場の違う者と協働し、問題解決のために主体的に話し合いに参加し、意思決定したり、合意形成したりしていく態度。

主体性等

生活や社会の中の問題に気が付く感性と力。その問題に正面から向き合い、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする態度。

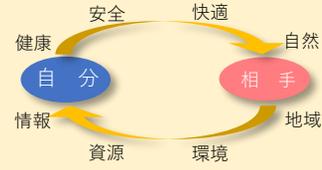
Society5.0を支える、AI、ロボット等のテクノロジーを学ぶ技術分野

使用者と開発者の立場を往還しつつ、多様な視点の長所・短所に折り合いをつけて、製品やシステムを評価することのできる力



よりよい生活の創造と自立し共に生きる工夫を学ぶ家庭分野

自分自身と家族、地域の方等、異なる考え方を理解し、多様な視点に折り合いをつけて、判断・発言・行動できる力



評価能力

問題解決に向かう態度

- 新しい発想を伝えようとする態度
- 新しい発想を認めようとする態度
- 自分の考えと他者の考えの長所・短所に折り合いを付けて、最適解を導き出そうとする態度
- 他者と協働して粘り強く物事を前に進める態度

研究内容

研究の手立て（学習過程）

生活や社会を支える技術 家庭生活と地域社会

- ・技術レビュー学習

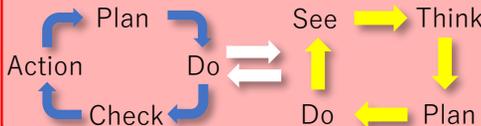


- ・生活レビュー学習



技術による問題の解決 家族・家庭や地域における問題の解決

- (1)生活や社会の問題を課題化
- (2)使用者と開発者の立場を往還する構想設計学習(技術)
自分と相手の立場を往還する生活デザイン学習(家庭)
- (3)ニーズとシーズを考慮した製品モデルの開発(技術)
家族・家庭や地域における問題をモデル化(家庭)



社会の発展と技術 生活の自立

- ・最先端の研究開発にふれ、技術の将来展望について意思決定
- ・改善策を家庭・地域で実践



気付かせる

働かせる

概念化する

対話的な学び

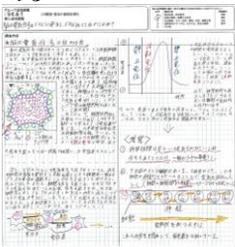
深い学び

主体的な学び

カリキュラム・マネジメントの実現に向けて

- (1)他教科とのつながり
「技術レビュー学習」や「生活レビュー学習」における他教科とのつながりを意識することで、学習効果を高める

- (2)企業・大学等との連携
社会に開かれた教育課程を重視し、教育活動の質の向上を図る
＜連携先＞
岩泉フォレストマーケティング、東北電力、(株)ケアテック、酒井医療、岩手大学理工学部、ヴァイラ加賀野、岩手着物学院、附属幼稚園



3年間の題材配列の基本的な考え方

子どもの発達段階等、実態に応じて、身近なところから社会へ広がっていく



- 学習者との距離: 近い (Near) to 遠い (Far)
- 視野: 狭い (Narrow) to 広い (Wide)
- 成果物: 実用的 (Practical) to モデル (Model)